

2019年度 事業報告書

2019年1月1日～2019年12月31日

特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、愛知県内外と名古屋市・豊田市、日進市を中心として活動。

平成31年度（令和元年度）活動の目標は例年継続事業として既存会員へのご提供サービスのレベル向上の為、会員向けメール配信やホームページを業者によるリニューアル化、会報誌マガリーアースたいむず会報誌は年2回の定期的な情報発信を行い、新会員には、名刺と徽章などの配布物とポロシャツとジャケットの販売を継続で行った。

会員以外への情報発信は、豊田市主催の「WE LOVEとよたフェスタ」に環境寺子屋、福祉、農事事業部の三部門出店、「とよたまちさとミライ塾」主催の農業体験イベント公募、「耕Life」、「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載を行った。また、ボランティア募集掲載サイトの「アクティボ」へ登録し53件の応募があった。

また、食育、食農、環境イベントで農事ボランティアの参加者を多く募り、農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない完全オーガニック作物の安全な食農と健康に関する課題提起、解決を図った。

豊田市藤岡、猿投地区の田畑や日進市委託事業として新規に借りた田圃では、農業後継者が激減していく中、遊休農地や耕作放棄地が増えた問題や国内自給率が低い等の課題を地産地消を促す有機循環自然農法を実践し、安心安全な農薬・除草剤・化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜、氣力米を作り、親子や一般参加者に提供する機会を多く作った。

その結果、健康で持続可能な地域社会を基盤とするコミュニティ構築を形成できるよう活動を推進し、愛知県本部より岐阜県・三重県・千葉県・兵庫県・青森県等の県外にも理念の普及啓発とマガリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努めてきた。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業。
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 農作業及びその付帯業務の代行及び請負事業。
- ⑦ 農具及び土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る研修事業

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(ア) 事業内容

○WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント・セミナー・ボランティア等の発信。会員以外の方への情報発信は、「とよたまちさとミライ塾」主催の農業体験イベント公募、「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報の掲載を行った。

(イ) 事業内容

○国際交流の場として、岡崎のりぶらまつりでは、日本の竹を使い昔のおもちゃ作りを伝承体験。また、恒例となったクリスマスに向けた松ぼっくりツリーの製作体験を行った。当会の理事の1人が岡崎ニュースを発行し、国際交流を長年開催されており共催にて実施。

(ウ) WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 国際交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム 情報交換事業 (国際交流)	第30回 国彩幸流会 Earth cafe りぶらまつり2019 プレイベント 持寄りお楽しみ会 「スリランカ支援 プロジェクト!!」 活動PR 会費:無料・持寄り 無い方(¥500/人) 主催:岡崎ニュース 協力事業:当会	(A) R1. 8. 17 18:00~20:00 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 3階 301号室 (C) 6人 副理事長 村野政章 理事 山本純子 スタッフ:4名	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数 25人 大人 25人	0円
① WEBシステム 情報交換事業 (国際交流)	第11回 りぶらまつり2019 おかざき国彩幸流会 Earth cafe 多文化共生交流	(A) R1. 11. 9/10 10:00~16:00 (B) 岡崎市図書館 プラザ リブラ 1階	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数 100人	0円

	ブース出展 「スリランカ支援 プロジェクト!!」 主催：岡崎ニュース 協力事業：当会	103号会議室 (C) 9人 副理事長 村野政章 理事 山本純子 スタッフ：7名		
① WEB システム 情報交換事業 (国際交流)	第30回国彩幸流会 Earth Café 一品持寄り/感謝の 会/会費:無料・持寄 り無い方(¥500/人) 「スリランカ支援 プロジェクト!!」 活動PR 会費:無料・持寄り 無い方(¥500/名) 主催：岡崎ニュース 協力事業：当会	(A) R1. 12. 14 18:00～20:00 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 3階 301、302号室 (C) 6人 副理事長 村野政章 理事 山本純子 スタッフ：4人	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E) 参加者数 28人 大人 25人 こども 3人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア19人)

総合計 0円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

参加費 無料 (社会貢献事業として受入)

反省点・改善ポイント

8月17日のプレイベントでは、りぶらまつり案内と出展募集が出来た。一品持ち寄り料理はスリランカ料理やブラジル料理の国際色も有り参加者は楽しんでた。夏の行事が重なり、外国人の参加が少なかった。

12月14日国彩交流会音楽、踊り、出し物が沢山有り楽しく、笑いの絶えない盛り上がる交流会だった。この様な多文化共生の交流会は来年度も引き続き企画開催してゆきたい。



その他 収益

I-TEN(株) 顧問料 600,000円

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業

(エ) 事業内容

環境セミナーとして、会員向けに、Motherly earth Project理念、コミュニティ構築勉強会を開催。Motherly earth Projectの元であるUniverse State の説明。何を目指し、実現しようとしているのか。目的、実践・実行に向けての講話やESD、SDGs勉強会を行った。

今回、昨年と同様に地方支部からも多数ご参加。原点・理念を多くの会員と共に学べた。また、交流会も行い、愛知本部で栽培した氣力米と、木樽で作った3年熟成の豆味噌や氣力野菜を使ったお味噌汁を提供し食育の重要性を伝えた。

総会後にマザリーアースプロジェクトセミナーを開催し、基調講演として一般社団法人美濃青年会議所2018年度理事長の辻晃一氏、この内容は当会の理念やSDGsについて学ぶ機会となった。それと当会理念に基づいたコミュニティづくり活動の講演、各エリア、支部活動発表。

(オ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	Motherly earth Project理念 コミュニティづくりの勉強会を開催。 Universe Stateの説明。ESD, SDGs (持続可能な開発目標)についての勉強会 やワークショップ	(A) R1. 1. 27 10:00～16:00 (B) 名古屋市 能楽堂 会議室 (C) 3人 理事長 山本百百代 スタッフ：2人	(D) 会員 (E) 参加者数 25人 会員 25人	32,300円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業	マザリーアースプロジェクト セミナーを開催。 辻晃一氏基調講演と	(A) R1. 3. 10 14:00～18:30 (B) ウィルあいち セミナー	(D) 会員 (E) 参加者数 48人 会員 46人	8,910円

(環境セミナー)	各エリア、支部活動発表。	ルーム5 (C) 10人 理事長 山本百百代 スタッフ：9人	一般 2人	
----------	--------------	--------------------------------------------	-------	--

(2) 総費用 (無償ボランティア13人)

総合計 41,210円

(内訳)

- ・配布資料印刷費 300円
- ・会場借料 32,000円 *午後、夜間 区分
- ・旅費交通費 8910円 *3/10講師交通費

(3) 収益

総合計 21,500円

(内訳)

Motherly earth Project 理念 コミュニティづくりの勉強会

- ・会員 17,500円 (700円×25人)
マザリーアースプロジェクト セミナー
- ・一般 4,000円

(4) 反省点・改善ポイント

前半の講義時間が長くなり、ESD, SDGs (持続可能な開発目標) についての講義時間が短くなった。



(カ) 事業内容

環境イベントとして、年4回の主たるイベント中2回目をとよたまちさとミライ塾の企画を活用し開催。

このイベント「猿投町の生き物と共生する田んぼでいきものみつけ！」は、大人も子供も自然の中で生き物と共生している事を学ぶ。

食育としては、完全オーガニックの氣力野菜と氣力米を使ったカレーライスづくりを参加者参加型のワークショップ形式で野外にて実施。子どもたちへは、包丁の使い方を伝えた。

竹筒炊飯での炊飯体験も行い、災害時の調理や火起こしの方法などを参加者の方に伝える事

が出来た。参加者は一日に環境、食育、ものづくりの3つの体験を行い、とても満足されていた。

(キ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境イベント)	第1回 環境イベント。 『猿投町の生き物と共生する田んぼでいきものみつけ!』を当会豊田市圃場にて開催。	(A) R1.8.4 9:30~15:30 (B) 豊田市猿投棒の手会館(裏) 当会圃場 (C) 10人 副理事長 村野政章 スタッフ：9人	(D) 豊田市 一般、会員 (E) 参加者数 43人 大人 32人 小学生以下 10人 幼児 1人 ※内会員 17人	27,425円

(2) 総費用 (無償ボランティア10人)

総合計 27,425円

(内訳)

・当期仕入高	5,184円	・賃借料	1,200円
・保険料	1,200円	・消耗品費	14,841円
・支払手数料	5,000円		

(3) 収益

総合計 46,900円

(内訳)

◆参加費

・一般大人 (高校生以上)	22,100円 (1,700円×13人)
・会員	10,800円 (1,200円×9人)
・スタッフ	12,000円 (1,200円×10人)
・小学生以下	2,000円 (200円×10人)
・幼児	0円 (0円×1人)

(4) 反省点・改善ポイント

今回は恒例の流しそうめんを中止する事で、棒の手会館裏圃場での調理体験を実践する事

が出来た。移動時間が少なくなった。ものづくり会場として借りた棒の手会館学習室は、冷房完備だった為に、休憩所ともなった。

子どもが包丁で指を切りましたが大事無く、適切な処置が出来ホットした。スタッフの見守り強化が必要。



(ク) 事業内容

寺子屋のものづくりは、食育イベント1回、食農イベント1回、環境イベント1回に竹や木、藁を使ったものづくりを実施。

また、環境イベントでは竹はしの製作指導を親子向けに行った。

竹を活用した箸作りをする事で、災害時でも食器を作る方法を伝える良い機会となった。

豊田市内の竹林の管理として伐採する竹を再生利用として寺子屋ものづくりに使用、①の国際交流と④の食農・食育イベントで子供達に竹を使用したおもちゃ作りの指導や、竹炭等を作り田畑に撒き土壌再生に使用。

(コ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第1回食農イベント 木のおもちゃづくり	(A) R1. 5. 12 9:30~15:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 2人 理事 服部裕一 役員 伊藤厚	(D) 豊田市 一般、会員 (E) 参加者数8人 子ども8人	0円

②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第1回環境イベント 竹箸作り	(A) R1. 8. 4 9:30~15:30 (B) 豊田市猿投 棒の手 ふれあい広場 (C) 3人 理事 服部裕一 黒田雅也 役員 伊藤厚	(D) 豊田市 一般、会員 (E) 参加者数 31人 大人 21人 子ども 10人	0円
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	第1回食育イベント クリスマスリースづくり	(A) R1. 12. 2 10:00~16:00 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 1人 役員 伊藤厚	(D) 豊田市 一般、会員 (E) 参加者数 10人 大人 2人 子ども 8人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 0円

(内訳)

- ・ 5/12 田植えイベント 0円
- ・ 8/ 4 環境イベント 0円
- ・ 12/ 8 食育イベント 0円

(3) 収益

総合計 14,700円

(内訳)

◆参加費

- ・ 5/12 田植えイベント 2,400円 (8人×300円)
- ・ 8/ 4 環境イベント 9,300円 (31人×300円)
- ・ 12/ 8 食育イベント 3,000円 (10人×300円)

(4) 反省点・改善ポイント

チラシ印刷時にもものづくりの内容が決まっていなかった事もあったので、年間を通じて作製するものを検討していく。環境イベントにて、気温が高くなる時間帯にものづくりを実施したところ、熱中症対策になった。多くの方が関心をもてる内容に変化をもたす。



(サ) 事業内容

公園や山に落ちている松ぼっくりを拾って来ての小さなツリー作りを体験。
また、豊田市の竹林より間伐した竹を使いものづくり体験を実施。

(シ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	りぶらまつり でんでん太鼓や 起き上がり小法師や 松ぼっくりツリー づくり	(A) R1. 11. 9/10 10:00～16:00 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ Libra (C) 3人 委員 伊藤厚 スタッフ：2人	(D) 岡崎市 一般、会員 (E) 参加者数 13人 子ども 13人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア3人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 4,600円
(内訳)

- ・ 11月 9日 1,700円
- ・ 11月 10日 2,900円

(4) 反省点・改善ポイント

子どもが途中で厭きてしまい、保護者の方が代わりに作ろうとしたが、声掛けし何とか自分で最後迄体験する様に促した。りぶらまつり自体への参加者が少なく、集客が伸び悩んだ。



(ス) 事業内容

寺子屋ものづくり事業部としては、県のテーマパークにて春秋まつりへ参加。理事長がモリコロパーク専用に考案したオリジナル作品で、粘土からハサミ一本で作れる「モリゾー・キッコロ」を3歳児から高齢者まで幅広い年齢層にものづくりを個人指導。モリコロパーク・マネジメント会員としてパークキャラクターを子供達の想像力や発想力を引き伸ばす為に会を上げてボランティア事業として実践。

(セ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の 額 (単位： 円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	モリコロパーク 春まつり ハサミ1本でつくる モリゾー、キッコロ の粘土教室	(A) R1.3.23 10:00~16:00 (B) モリコロパーク 地球市民交流 センター屋内 会場 (C) 6人 理事 服部裕一 スタッフ：5人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (E) 参加者数 20人 子ども 20人	0円
②自然再生と環境の保全活動を支援する	モリコロパーク 秋まつり ハサミ1本でつくる モリゾー、キッコロ	(A) R1.9.22 10:00~16:00 (B) モリコロパーク 大芝生広場付近	(D) 愛知県内外 一般、会員 (E) 参加者 30人	35,812円

る事業 (寺子屋ものづくり)	の粘土教室	休憩場 (C) 7人 理事 服部裕一 スタッフ:6人	子ども 30人	
-------------------	-------	----------------------------------------	---------	--

(2) 総費用 (無償ボランティア13人)

総合計 35,812円

(内訳)

- ・当期仕入れ 35,380円
- ・手数料 432円

(3) 収益

総合計 25,000円

(内訳)

- ・粘土細工モリゾー・キッコロ春まつり 10,000円 (20人×500円)
- ・粘土細工モリゾー・キッコロ秋まつり 15,000円 (30人×500円)

(4) 反省点・改善ポイント

呼び掛け不足で集客が少なく、今後農事ポップ等も工夫し呼び込み易い物を作り集客を増やす。



(ソ) 事業内容

寺子屋ものづくりとして今年は、にしんわいわいフェスティバルにて、日進市のマスコットキャラクターであるニッシーの粘土教室を開催。

違う色の粘土を混ぜ合わせ新たな色を作る工程から指導。粘土を混ぜ、色の変化を感じれる作る工程を見て創造力や発想力を学ぶ機会を与える良い時間となった。

(タ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	にしんわいわいフェスティバル 粘土でつくる ニッシー作り	(A) R1. 7. 6 10:00～17:00 (B) 日進市 スポーツセンター 2階 (C) 4人 理事長 山本百百代 スタッフ：3人	(D) 日進市 一般、会員 (E) 参加人数7人 子ども 7人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア4人)

総合計 0円
(内訳)

(3) 収益

総合計 3,500円
(内訳)

・にしんわいわいフェスティバル 3,500円 (7人×500円)

(4) 反省点・改善ポイント

展示用ポップ等の準備不足。呼び込み易い物を作り動員を増やす。

1体製作するのに時間がかかるので、指導方法の改善が必要。



(チ) 事業内容

寺子屋ものづくりとしては、WE LOVE とよたフェスタへ参加し竹のもづくり教室や藁草履り、竹のおもちゃなど製作物を展示。ボランティアの募集を実施。

(ツ) 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋ものづくり)	WE LOVE とよた フェスタ 竹のものづくりや藁草履や竹のおもちゃなどを展示。	(A) H31. 3. 17 10:00～15:30 (B) 豊田市スカイホール (C) 3人 理事 服部裕一 スタッフ：2人	(D) 豊田市内外の不特定多数の方々。 (E) 100人以上	2,000円

(2) 総費用 (無償ボランティア3人)

総合計 2,000円

(内訳)

寄附金 (参加費) 2,000円

(3) 収益

総合計 800円

(内訳)

800円 (2人×400円)

(4) 反省点・改善ポイント

定番の竹ぼっくりやでんでん太鼓はマンネリ化しているので新たなものづくりを実施していく必要有り。今年は男性スタッフだけの受け入れは中々集客が伸びない。女性のものづくりスタッフが必要。



③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

(テ) 事業内容

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、言葉遣いや考え方を変える事で「プラス思考」に切替え、苦しい思いの人生観が変わる生き方を指導。心の問題がものの考え方を変える事で、解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンダラ思考を通して自己改革の仕方を指導。ワークショップ形式セミナーを愛知で年6回開催。岐阜で年1回無料セミナーを開催。悩める会員と一般市民の悩める方々を交えて有料で心の学校メンタルヘルス講座を開催。一般者がひとりでも申込みがあれば開催。

(ト) 保険、医療、老人福祉及び健康促進事業 心の学校メンタルヘルス事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	第65回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。	(A) H31. 2. 24 (B) とよた市民活動センター (C) 2人 講師 当会理事長 事務局 正会員 1人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 6人 会員 6人	0円
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	第66回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。	(A) H31. 4. 21 (B) イーブルなごや (C) 2人 講師 当会理事長 事務局 正会員 1人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 8人 会員 6人 先受会員 1人 一般 1人	1,669円
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	第67回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩み	(A) H31. 6. 30 (B) イーブルなごや (C) 2人 講師	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 8人 会員 7人 一般 1人	2,009円

業	を抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。	当会理事長 事務局 正会員 1 人	当日欠席 1 人	
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	第68回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。	(A) H31. 7. 21 (B) イーブル なごや (C) 2 人 講師 当会理事長 事務局 正会員 1 人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 3 人 会員 2 人 先受会員 1 人	1, 689 円
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	第69回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。	(A) H31. 8. 18 (B) とよた市民 活動センター (C) 2 人 講師 当会理事長 事務局 正会員 1 人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 3 人 会員 3 人	1, 289 円
③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	第70回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方等を対象として、人生観が変わる生き方を指導。	(A) H31. 9. 29 (B) イーブル なごや (C) 2 人 講師 当会理事長 事務局 正会員 1 人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 2 人 会員 2 人	1, 609 円
保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	岐阜エリアセミナー11回 テーマ『悩めるあなたに、心のトリートメント』自己の考え方を知り感謝と反省と謙虚さを知る事で人生観が変わる生き方を指導。	(A) H31. 1. 20 (B) 岐阜県高山市 こくふ交流 センター (C) 2 人 講師 理事長 1 人 副理事長 1 人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 6 人 会員 5 人 一般 1 人	0 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 14 人)

総合計 8, 265 円

(内訳) 6 回開催分

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
③保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業	利用者・スタッフの方々の雇用など施設拡大での雇用等の問題。事業者を対象に毎月コンサル相談をして指導料を頂き改善策を指導	(A)月1回 (B)事務所 (C)2人 理事長 山本百百代 副理事長 村野政章	(D)会員対象 (E)参加者数 1人 会員1人	0円

(2) 総費用

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 1,200,000円

(内訳)

・参加費

会員：1名 1,200,000円(12カ月×100,000円)

(1) その他 費用 (寄附金)

WELOVEとよたフェスタ 福祉事業部出展料(寄附金扱い) 1,000円

※WE LOVE とよたフェスタに3ブース出展参加した。福祉の出展料が寄附金扱いとなった。

④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

(ヌ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事業

(1) 総費用

総合計 1,485,782円

(内訳)

・旅費交通費	1,860円	・運賃	25,200円
・保険料	133,450円	・修繕費	430,992円
・消耗品費	503,828円	・広告宣伝費	12,960円
・支払手数料	2,376円	・減価償却費	375,116円

(2) 収益 34,000円

総合計 34,000円

(内訳)

・管理売上高 30,000円 ・当期売上高 4,000円

(ネ) 事業内容

食育・食農の農業関連事項については、「心の学校の課外授業」として位置付けられ、食農イベントは田植え1回、稲刈り2回を開催。稲刈りは「とよたまちさとミライ塾」のプログラムとして実施。食育イベント1回は「食農感謝祭の餅つき」を実施。

農業を通じて豊田市猿投町と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症などの知的障害・発達障害等）・うつ病・生活困窮者・生活保護者の方々と共に就労準備訓練を実施。

共働共生を目指し、完全オーガニックで（農薬・化学肥料、除草剤不使用）安心安全な農業指導を実践の中で、健康に係る問題改善や解決を図る為に、耕作地を豊田市農地バンクを活用し不耕作地と農業後継者問題の最中。有機循環自然農法の普及を会員や一般者・ボランティアに向けての農業指導を実践。無農薬で安心安全、美味しいと子供達も喜んで食べられる野菜を提供するイベントで、食農と食育の大切さを伝える機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤を形成出来る様に活動を推進。普及と向上と同時に環境保全で生き物や自然との共生の大切さ、いのちを育む大切さを活動を通して伝え、そして半農半就をしながら福祉と農業を活かした自給自足のコミュニティ構築を目指して実践中。

日頃CSR活動で、企業ボランティアの安城市の東和精機株式会社様に農業支援・応援・ご協力を頂き農業ボランティア参加者の方々に日頃の感謝を込めて、収穫感謝祭にご招待の声掛けをし、一般者と一緒に楽しんで頂く企画をした。今回残念ながら東和精機株式会社様は都合が合わず不参加となった。その為、後日野菜等と共にお餅を送った。

食育委員の料理スキルをワークショップ形式で薬膳の知識を元に無農薬野菜の素材を生かした料理を参加者の親子にも調理指導を実施。カレー作りではスパイスから有機のものにこだわり、小麦などのアレルギーを持つ方にも安心して食べられるベジタブルカレーを研究発表した。野菜嫌いの子供達が喜んで食べる姿を親が見て感動された。それを見て私達も「苦勞して野菜を作った結果、野菜嫌いの子供達が喜んで食べるのを見て」スタッフ全員が喜べた。しっかりと調理方法や薬膳効果を説明した所りピーターも増加。

会員やご家族に限らず、参加者の子ども達にも農業を伝承して、美味しい無農薬野菜の味を知る事で、元気に健康になって頂き未来・将来に役立てれば、イベント開催に意義が見い出せた。もし、食糧危機が来た時に農業経験が有れば、災害時に生き残れ、自然と共生をして行く事の大切さを体験していれば、農業は次世代の担い手に受け継がれると私達は信じ、青少年育成と社会人・留学生の受入も実施している。

今年度より日進市委託事業として農地を新規に借り入れたので、日進市の依頼によりぐるぐるNISSHINまちミル博覧会企画として、稲刈りとはざがけ体験を実施している。

※KTCおおぞら高等学院・名古屋キャンパスの農業体験学習は担当教諭不在の為、今年度は中止。

(ノ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育・食農イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	第1回食農イベント 峰のむらさきの田植え、苗取り。 食育体験釜戸炊き体験と玄米おむすびづくり、五平餅作り	(A) R1. 5. 12 9:30～15:30 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 11人 副理事長 村野政章 スタッフ:10人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数 41人 大人 27人 障がいを伴なう方 2人 中学生 1人 小学生以下 8人 幼児 3人 ※内会員 17人	10,631円
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	とよたまちさとミライ塾 稲刈りとこだわりのお米とお味噌を使った五平餅づくり	(A) R1. 10. 6 10:00～16:00 (B) 豊田市猿投町 当会圃場 (C) 10人 理事 服部裕一 スタッフ:9人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数 25人 大人 22人 小中学生以下 2人 未就学児 1人 ※内会員 16人	4000円
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食農イベント)	とよたまちさとミライ塾 稲刈りとこだわりのお米とお味噌を使った五平餅づくり	(A) R1. 10. 27 9:00～16:00 (B) 豊田市猿投町 別所圃場、六反田 当会役員圃場 (C) 10人 理事 服部裕一 スタッフ:9人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数 33人 大人 25人 小中学生以下 6人 未就学児 2人 ※内会員 15人	3,825円

④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育イベント)	ぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会 稲刈りとはざがけ体験	(A)R1. 10. 26 9:30~12:00 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 3人 副理事長 村野政章 スタッフ:2人	(D) 日進市民 (E) 参加者数 22人 大人 8人 小学生以下 6人 未就学児 5人 内会員 3人	900円
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育イベント)	第1回食育イベント 食農感謝祭 杵と臼を使用した昔ながらのもちつき、味噌汁、和太鼓演奏と和太鼓体験。	(A)R1. 12. 8 10:00~16:00 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 12人 理事 黒田留美 スタッフ:11人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者数 59人 大人 49人 小学生以下 9人 未就学児 1人 ※内会員 19人	11,604円

(2) 総費用 (無償ボランティア46人)

総合計 50,932円

(内訳)

○食農イベント 19,356円

- ・講師料 (2名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会にて年間通して借りている圃場なので無料)
- ・通信費 3,666円
- ・保険料 3,900円
- ・広告宣伝費 3,570円
- ・賃借料 1,500円
- ・消耗品費 1,595円
- ・支払手数料 5,125円

○食育イベント 11,604円

- ・講師料 (2名)無償ボランティア
- ・会場費 (当会の猿投寮内なので無料)
- ・通信費 3,864円
- ・保険料 1,200円
- ・賃借料 1,200円
- ・広告宣伝費 5,340円

(3) 収益

総合 170,000円

(内訳)

○食農イベント参加費	82,500円
田植え 参加費	42,100円
・一般大人（高校生以上）	17,000円（10人×1,700円）
・障がいを伴う方	2,400円（2人×1,200円）
・会員	7,200円（6人×1,200円）
・中学生	700円（1人×700円）
・小学生以下	1,600円（8人×200円）
・スタッフ	13,200円（11人×1,200円）
稲刈り1回目 参加費	12,600円
・一般大人（高校生以上）	12,000円（12人×1,000円）
・小中学生以下	600円（2人×300円）
稲刈り2回目 参加費	16,800円
・一般大人（高校生以上）	15,000円（15人×1,000円）
・小学生以下	1,800円（6人×300円）
ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会 稲刈り	11,000円
・大人	8,000円（8人×1,000円）
・小学生	3,000円（6人×500円）

○食育イベント・食農感謝祭参加費	87,500円
・一般大人（高校生以上）	40,000円（16人×2,500円）
・会員	14,000円（7人×2,000円）
・小学生以下	9,000円（9人×1,000円）
・スタッフ	24,500円（11人×2,000円、1人×2,500円）
・招待客	5人（山田主成ご夫婦様、藤井様2名、松林様） 9人（TSUWAMONO彩様）

反省点・改善ポイント

今年は各イベントとも集客が伸び悩んだのは長雨が続き結果、稲刈りでは参加人数が少なく、雨降り後の悪条件が重なりが思う様に進まなかった。

食育イベントでは、準備をするスタッフや当日のスタッフも不足していたが、多くの会員の協力があり無事終えることができた。普段から会員の方への呼びかけが必要。





(ハ) 事業内容

あいちの農林水産フェアやWELOVEとよたフェスタ、トマト祭り、STREET&PARKマーケット、朝市で語ろうなどへの出展や宅配を行い野菜やお米、加工品の販売を実施。

(ヒ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 マルシェ販売

(1) 総費用

総合計 4, 926, 732円

(内訳)

○人件費用

(内訳) 1, 813, 700円

・正会員従事者(延べ22名)無償ボランティア

・給料手当 1, 813, 700円

(613, 700円/年×1人)

(12ヶ月×100, 000円×1人)

○その他経費用 3, 113, 032円

(内訳)

仕入、棚卸関係 1, 548, 140円

・当期仕入高 1, 577, 331円

・期首棚卸高 143, 141円

・期末棚卸高 ▲172, 332円

寄附金、減価償却費など 1, 564, 892円

・寄附金 2, 000円

・減価償却費 378, 893円

・賃貸料 48, 416円

・地代家賃 24, 000円

・保険料 96, 500円

・修繕費 226, 050円

・水道光熱費 85, 214円

・燃料費 239, 458円

・消耗品費 216, 127円

・租税公課 14, 400円

・運賃 196, 713円

・事務用品費 2, 540円

・広告宣伝費 8, 380円

・支払手数料 23, 201円

・印刷製本費 3, 000円

(2) 収益 2, 282, 027円

(内訳)

- ・売上高 2,039,233円
- ＜宅配販売＞ 829,513円 (アリーニユ様販売含む)
- ＜出展販売＞ 1,209,720円

内訳

- ・ミッドランドマルシェタ市 6,114円
- ・興正寺マルシェ 22,236円
- ・りぶらまつり(2回出展) 9,730円
- ・藤岡マルシェ 3,680円
- ・日進シンポジウム 52,710円
- ・朝市で語ろう 6,550円
- ・WELOVEとよたフェスタ 14,180円
- ・菊石蔵開き 5,355円
- ・あいちの農林水産フェア 28,552円
- ・Street&ParkMarket(10回出展) 142,852円
- ・日進プライムツリー食育イベント(2回出展) 14,190円
- ・他マルシェ販売 903,571円
- ・雑収入 242,794円

(フ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事体験

(2) 総費用(無償ボランティア2人)

総合計 2,600円

(内訳)

- ・広告宣伝費 2,600円

(3) 収益

総合計 41,500円

(内訳)

- ・宿泊費 40,000円(16泊×2,500円)
- ・食事代 1,500円(3回×500円)

(へ) 事業内容

食育関係として、総会後の懇親会に豊田市で栽培している路地野菜と米を使用、調味料にも拘って作る食育料理が楽しみで参加する会員が多く、安心安全な生野菜を格安で食べ、調理の仕方も聞いて満足感に浸り帰られる。また、総会前に希望者へ弁当の提供をした。

(ホ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	第11回通常総会茶話会にて料理の提供を行った。	(A) H31. 3. 10 9:00～17:45 (B) ウィルあいち セミナールーム2 (C) 5人 理事長 山本百百代 理事 黒田留美 スタッフ 4人	(D) 一般、会員 (E) 参加者数 40人 内会員 40人	62,344円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 62,344円

(内訳)

仕入高NP0 62,344円

(3) 収益

総合計 30,500円

(内訳)

昼食代 28,000円 (35人×800円)

昼食代 2,500円 (5人×500円)

反省点・改善ポイント

同会場内にキッチンスタジオがあったので、温かい状態で参加者へ提供する事が出来た。
1年の調理研究結果を会員へ報告出来た事で食育への関心が高まった。



(マ) 事業内容 「WE LOVEとよたフェスタ」へブース販売出展。

出展の内容は野菜やお米、加工品、ポテトフライ(カラぼて)などを開発販売を行った。

当日は客足は少なかったが、お客様より美味しいとの評価を得た

(ミ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	WE LOVEとよたフェスタ ブース出展にて フライドポテトの 販売。 活動紹介を実施	(A) H31. 3. 17 10:00～15:30 (B) 豊田市スカイホール (C) 4人 理事 黒田留美 スタッフ 3人	(D) 豊田市内外の一般市民 (E) 31人	18,595円

(2) 総費用 (無償ボランティア4人)

総合計 18,595円
(内訳)
仕入高NPO 14,601円
消耗品費 3,994円

(3) 収益

総合計 16,500円
(内訳)
16,500円 (31人×500円)

反省点・改善ポイント

オリジナルのフライドポテトを販売。色のついたじゃがいもは見た目でも子どもは受け付けなかったが反対に大人は綺麗で美味しそうと受けた。

反省は、メール、HP、SNSでの案内が遅くなり会員様などへの呼びかけが遅くなった。次回から早く発信する。



(ム) 事業内容

円頓寺商店街にて開催されたトマトまつりへのブース出展
 今回は、白米おむすびとお祝い米さくらを使ったおむすびの販売。計画実施。

(メ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	トマトまつり ブース出展にて おむすびの販売.	(A) R1. 6. 22 11:00~18:00 (B) 円頓寺商店街 (C) 4人 理事 黒田留美 スタッフ 3人	(D) 愛知県内外 の一般市民 (E) 200人	7,059円

(2) 総費用 (無償ボランティア4人)

総合計 7,059円
 (内訳)
 仕入高NPO 4,634円
 消耗品費 2,425円

(3) 収益

総合計 15,600円
 (内訳)
 おむすび 15,600円

反省点・改善ポイント

出展会場は飲食店多くすぐに食べられるものが多く、おむすびの売れ行きが鈍かった。
 沢山準備したが売れ残りは終盤に値下げし多く販売した。



(モ) 事業内容

日進市プライツリー赤池より出展依頼が有り、開催された秋の食イベント「～食育を学ぼう～」に参加、親子向けに30分で作れる五平餅作り体験を実施。

(ヤ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 (食育関係)	秋の食イベント ～食育を学ぼう～ にて五平餅 づくり体験	(A) R1. 10. 19/20 11:00～18:00 (B) プライムツリー赤池 (C) 17人 理事長 山本百百代 スタッフ 16人	(D) 愛知県内外の一般市民 (E) 119人	8,794円

(2) 総費用 (無償ボランティア17人)

総合計 8,794円
(内訳)
・仕入高NPO 8,794円

(3) 収益

総合計 65,700円
(内訳)
10月19日 33,000円
10月20日 32,700円

反省点・改善ポイント

日進市の米作り体験コースと重なり人員配置に苦労したが、会員の協力が有り滞りなく終える事が出来た。運営会社とのやり取りが難しく直前まで準備に苦労したが参加者は満席で焼いて食べる事が出来なかったが、子どもたちはその場で味噌を塗って美味しいと笑顔で食べていた。



(ユ) 事業内容

シンポジウムにて、食育・食農・環境イベントなどにて薬膳の知識を元に当会で栽培した、完全オーガニックの野菜、米を使い参加者・親子と共にカレーライス作りに挑戦！、調理指導を行った。

(1) 総費用

総合計 333,471円

(内訳)

・仕入高NPO	200,079円	・旅費交通費	2,700円
・賃貸料	14,932円	・消耗品費	115,160円
・保険料	600円		

(2) 収益 330,376円

○Motherly earth Project 理念コミュニティづくりの勉強会 37,600円

食事代 37,600円 (800円×47人)

○シンポジウムカレーライス作り 25,500円

・大人 19,500円 (1,500円×13人)

・3歳児以上 6,000円 (1,000円×6人)

○食農イベント 食事代 73,600円

田植え 30,400円

・一般大人(高校生以上) 8,000円 (10人×800円)

・障がいを伴う方 1,600円 (2人×800円)

・会員 4,800円 (6人×800円)

・中学生 800円 (1人×800円)

・小学生以下 6,400円 (8人×800円)

・スタッフ 8,800円 (11人×800円)

稲刈り1回目 19,200円

・一般大人(高校生以上) 9,600円 (12人×800円)

・小中学生以下 1,600円 (2人×800円)

・未就学 800円 (1人×800円)
 ・スタッフ 7,200円 (9人×800円)
 稲刈り2回目 24,000円
 ・一般大人(高校生以上) 12,000円 (15人×800円)
 ・小学生以下 3,200円 (6人×800円)
 ・未就学児 800円 (1人×800円)
 ・スタッフ 8,000円 (10人×800円)

○食育イベント・食農感謝祭 食事代 45,000円
 ・一般大人(高校生以上) 16,000円 (16人×1,000円)
 ・会員 7,000円 (7人×1,000円)
 ・小学生以下 9,000円 (9人×1,000円)
 ・未就学児 1,000円 (1人×1,000円)
 ・スタッフ 12,000円 (12人×1,000円)

○日進米作りコース2019 食事代 64,696円
 ・田植え 14,774円 ・生き物調査 16,374円
 ・稲刈り 16,374円 ・足踏み脱穀 17,174円

○環境イベント 食事代 33,600円
 ・一般大人(高校生以上) 10,400円 (800円×13人)
 ・会員 7,200円 (800円× 9人)
 ・スタッフ 8,000円 (800円×10人)
 ・小学生以下 8,000円 (800円×10人)

○カレーライス作りと野菜の栽培体験 食事代 17,600円
 ・一般、会員 7,200円 (800円× 9人)
 ・小中学生 2,400円 (800円× 3人)
 ・スタッフ 8,000円 (800円×10人)

○農林水産フェア 5,000円

○甘味噌、おかか販売 8,200円

○その他 19,580円

(ヨ) 事業内容

農薬・化学肥料・除草剤不使用の「旬の野菜を使ったカレーライス作りとよっしー畑で

野菜の栽培体験♪」イベントを当会役員との共催事業として開催。

(ラ) 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環 型・環境保 全型経済 を推進す るコミュ ニティの 構築事業 (その他)	カレーライスづくり。 踏み脱穀。玉ねぎの植 え付けと人参の間引 きを実施	(A) R1. 11. 17 9:30～15:30 (B) 豊田市猿投町 六反田当会 役員圃場 (C) 10人 理事 服部裕一 スタッフ：9人	(D) 豊田市内外 の一般・会員 (E) 参加者数 22人 大人 19人 小中学生 3人 ※内会員 13人	6,500円

(2) 総費用 (無償ボランティア10人)

総合計 6,500円

(内訳)

- ・講師料 (1人) 無償ボランティア
- ・会場費 (当会や役員圃場なので無料)
- ・賃借料 600円
- ・保険料 900円
- ・支払手数料 5,000円

(3) 収益

総合計 15,900円

(内訳)

参加費

- ・一般、会員 15,300円 (1,700円×9人)
- ・大人 600円 (200円×3人)

反省点・改善ポイント

今年度は、集客方法の改善が必要。各スタッフによる声掛けも必要。食育ワークショップは怪我無く順調に行うことが出来た。お客様同士の交流が出来和気藹々で楽しく出来た。

前日は、遅くまで準備が掛るので、前倒しでできる事項の選定を行う。



(1) その他 費用

- ・市民農園上賃貸料 3,000円
- ・支払手数料 123円

⑤社会的包摂推進に係る事業

(リ) 事業内容

平成28年3月31日 豊田市認定第2号 生活困窮者自立支援就労訓練事業所認定。
生活困窮者自立支援制度は、平成27年4月15日「現在は生活保護を受給していないが、生活保護に至る恐れが有る人で、自立が見込まれる人」を対象に、困り事に関わる相談に応じ、安定した生活に向けて仕事や住まい、子どもの学習など様々な面で支援。生活保護から脱却した人でも、再び最低限の生活を維持出来なくなる事が無い様、支援の対象となる。

その為に、都道府県や市町村に「相談窓口・就労（準備）・家計・学習支援等」が設けられている。

【 暮らしに困る理由や状況は様々。支援の対象事例 】

- ・離職後、求職の努力を重ねたが再就職出来ず、自信を失って引きこもってしまった人
- ・高齢で体の弱った親と二人暮らしを続ける内に、地域から孤立してしまった人
- ・家族の介護の為、時間に余裕はあるが収入の低い仕事に移った人
- ・配偶者からの暴力を逃れて家を飛び出したが、子供が幼い為に就業が難しい人
- ・いじめなどの為に学校を中退し引きこもりを続ける内に、社会に出るのが怖くなってしまった人
- ・家計の管理が上手く出来ない為に、借金の連鎖を止められない人、等々。

2016年4月～ 会場は会の農事部の圃場・作業所で農業（心の学校メンタルヘルスの課外授として実践圃場）を通して、その方々に強制する事なく一緒に作業指導をしながら社会復帰を目指して相手の立場に立って無理なくやる気・元気を取り戻し自主性・自立支援を行う。

豊田市福祉課より生活保護者の支援も依頼されて、同じ様に取り組んでいる。専任相談支援担当者として村野政章副理事長を任命し、事業に従事。全額会負担有給理事として雇用。

*全国エリアに理念に賛同する会員様通じ、団体や事業部を設立し本格的に始動。

事業支援実施事例として、

平成29年（2017年1月）岐阜県飛騨エリア企業会員（株）ありがとうファーム

岐阜県第1号認定 生活困窮者自立支援における就労訓練事業所設立 指導
平成29年(2017年4月)

岐阜県飛騨市 就労準備支援事業 委託事業 設立指導
平成30年(2018年9月～) 千葉県野田市に市民団体Earth as Mother千葉を通じ企画提案
平成31年(2019年4月) NPO法人Earth as Mother千葉 就労準備支援事業受託設立指導
平成31年(2019年4月) NPO法人Earth as Mother岐阜 NPO法人ぎふNPOセンター協働
土岐市就労準備支援事業・社会的居場所事業 業務連携指導

現在、豊田市では生活福祉課より被保護者(生活保護)の体験訓練の希望者をインセンティブ無しで受入れている。この3年豊田市就労訓練支援事業における市及び社会福祉協議会からの受け入れに関しては、事業委託金、補助金、支援金等無しで社会復帰者を生み出している。豊田市担当部署には次年度以降の事業連携に関する事業内容の見直しと予算化を提案中。

(ル) 社会的包摂推進に係る事業 生活困窮者・生活保護者の自立就労支援事業

(1) 総費用

総合計 3,003,780円

(内訳)

- ・正会員従事者 無償ボランティア(延べ56人)
- ・給料手当1人 3,000,000円(12ヶ月×250,000円)
- ・支払手数料 3,780円

(2) 収益

総合計 1,064,000円

(内訳)

各支部、エリア指導料 1,064,000円

(3) 反省点・改善ポイント

今年度より各地区より指導料をいただき、収益収入が上がっている。赤字事業の為にさらに利益収入を上げる事が必要。

⑧前各号の事業を遂行する為に必要な事業

(レ) 事業内容

豊田市協働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。7期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度の講師は自主管理の方々の発表の場所として市民農園マザリーアースを青空会場にして一般市民も対象に有料で農業の普及活動として開催。市民農園菜園から個人で農地を借りられる方が増えた。市民農園も1人の方が2区画、3区画と利用が増え農業を楽しまれる方が定着しました。

(ロ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 市民農園

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	土づくり青空交流会	(A) R1. 7. 14 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 1人 副理事長 村野政章	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 4人 大人4人	1,590円
⑧前各号の事業を遂行するために必要な事業 (市民農園)	野菜づくり青空交流会	(A) R1. 11. 3 10:00～12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 1人 副理事長 村野政章	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 参加者数 4人 大人4人 ※内会員1人	1,145円

(2) 総費用 (無償ボランティア2人)

総合計 65,648円

(内訳)

- ・ 諸謝金講師料 0円 (2人無料)
- ・ 通信費 3,415円
- ・ 消耗品費 1,069円
- ・ 印刷製本費 550円
- ・ 燃料費 398円
- ・ 支払手数料 60,216円

(3) 収益

総合計 146,884円

(内訳)

- ・ 市民農園セミナー参加料 (延べ8人) 4,800円
 - 1回目 利用者 600円×4名= 2,400円
 - 2回目 利用者 600円×4名= 2,400円
- ・ 市民農園利用料 (16人) 142,084円
 - 1区画利用者 5,500円×8名= 44,000円
 - 2区画利用者 11,000円×6名= 66,000円
 - 3区画利用者 16,500円×2名= 33,000円
- ・ 前受金2018年1～3月分24区画分差引 10,992円

反省点・改善ポイント

雨も上がり開催することができた。2019年度新規利用者様の参加で土づくりの意見交換がされて良かった。既存の利用者様の参加を促すには新しい興味を引く内容が必要だと思われる。藤の赤みそ汁やハーブティを飲みながらのゆっくりゆったりとした空間での学びや意見交換は豊かな時間であると好評であった。新規利用者様の参加はあったが、既存の利用者様の参加はなかった。



(ワ) 事業内容

食や農業への理解をより増進する農業体験機会を提供するために、日進市での教育ファーム開催検討会を実施。より充実したプログラム企画開発を行う。検討委員会を開催しながら、事業を進めることにより、次年度実施予定の農業体験を、一時的なイベントではなく、生産者の指導を受けながら、大人も子供も一連の農作業や伝承農法等を体験する中で、地域の農業や田畑が洪水防止、生物多様性保全、地域の食文化や伝統文化の継承など多くの機能を持っていることに気付き、農業の魅力を再発見する機会を多く提供することにつながる為、農林水産省食料産業・6次産業化交付金(愛知県地域の魅力再発見食育推進事業)の助成を受け実施。

(ヲ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 (協働事業)	(農林水産省、食料産業・6次産業化交付金) 第1回教育ファーム検討委員会	(A) R1.6.27 10:00～11:45 (B) 日進 市民文化会館 (C) 4人 理事長 山本百百代 スタッフ：3人	(D) 日進市職員、日進市市民、 (E) 参加人数 11人 市役所職員 4人 一般 3人	2,418円

・事務用品費 180円

(3) 収益

総合計 0円
(内訳)

反省点・改善ポイント

日進市役所関係者や福祉、保育、大学教授が参加され、これからの共育などについて活発な提案がされ良い会合となった。

(シ) 事業内容

平成30年度農林水産省 食料産業・6次産業化交付金(愛知県地域の魅力再発見食育推進事業)の助成を受け2月10日開催。“未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2019”と題し、『カレーライスを一から作る』ドキュメンタリー映画上映会と農林水産省大臣官房広報評価課報道室企画専門職の松本純子氏による講演会と高橋ファミリークリニックの高橋信雄氏のミニ講演会を行った。村野副理事長のコーディネートによる松本純子氏と高橋信雄氏の対談では、未来への子どもたちへ如何にして、食育・食農の和をつないでいくか参加者を交えたディスカッションを行った。米や野菜の栽培工程パネルの展示や説明、農薬や除草剤・化学肥料を一切使用しない作物を試食し、生産者と消費者の交流を図りながら実施することにより、日本型食生活の良さの再発見、地産地消への理解促進など、県民の食への関心や理解を深めた。午前中には、親子向けに食育の大切さを伝える『親子で体験カレーライスづくり』を開催した。

シンポジウムを開催する事により、各ライフステージにおける食生活の課題や地域農産物の現状を伝え、充実した食生活や毎日の食事が生産者をはじめ、多くの関係者により食が支えられている事を知り、健全な心身を培うと共に食に対する感謝の気持ちを深める機会となった。今後も同様の取組を継続していく必要がある。

(ガ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュ	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業) 「親子で体験カレーライスづくり」 カレーライスづくりを実施	(A) R1. 2. 10 10:20~12:30 (B) 崇化館交流館 調理室 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 20人 参加者数 大人 13人 3歳児以上	0円

ニティの構築事業		黒田留美 スタッフ 5人	6人 未就学児 1人 ※内会員 5人	
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業)「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2019」として 映画上映、講演会、パネルディスカッションを 実施	(A) R1. 2. 10 13:00~17:00 (B) 崇化館交流館 大会議室 (C) 13人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 58人 大人 55人 小中学生 3人 内会員 28人	361,520円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 361,520円

(内訳)

・仕入高NPO	7,845円	・雑給	101,376円
・旅費交通費	41,780円	・通信費	8,559円
・保険料	3,000円	・賃借料	64,800円
・消耗品費	21,318円	・事務用品費	442円
・広告宣伝費	109,214円	・支払い手数料	756円
印刷製本費	2,430円		

(3) 収益

総合計 174,000円

(内訳)

シンポジウム	174,000円
・前売り	171,000円 (1,800円×95人)
・小中学生以下	3,000円 (1,000円×3人)

反省点・改善ポイント

タイムスケジュールがきつきの状況にあるので、開始前、終了後に活動紹介会を映像として流すような工夫が必要。

集客が今回も少ない状況。各スタッフがお客様へ一人ずつ声掛けをする必要あり。

また、農事ボランティアの方を繋いでゆき、イベントなどへの参加につなげる。



(ギ) 事業内容

平成31年度農林水産省 食料産業・6次産業化交付金(愛知県地域の魅力再発見食育推進

事業)の助成を受け9月8日開催。

“未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2019 in につしん”と題し開催。広く多く的一般県民に対し、各ライフステージにおける食生活の課題や地域農産物の現状を伝え、毎日の食事が自然の恩恵の上に成り立ち、生産者をはじめ、多くの関係者により食が支えられている事知り、食に対する感謝の気持ちを深めてもらい、地域農産物の地産地消への関心が高める事を目的に行った。内容は、『人生フルーツ』ドキュメンタリー映画の上映会。東京農業大学 国際食料情報学部 国際食農科学科 教授 上岡 美保氏による講演。『次世代に持続可能な世界へのバトンを渡す為の、食育・食農・共育とは』をテーマとした対談を副理事長 村野政章がコーディネーターとなり上岡美保氏と理事長 山本百百代、NPO法人親育ネットワーク代表理事 黒田忠晃にて行った。会場内には、米や野菜が出来るまでの栽培工程や日進市での米作り体験コースについてのパネル展示、完全オーガニック（農薬等不使用）の米や野菜などの試食を行った。また、日進市近藤裕貴市長、愛知県県会議員近藤裕人氏も登壇し、祝辞をいただいた。農産物への愛情を持ち、種から育てる喜び、楽しみ、育てる大変さやそして食する食農、食育の大切さ、ありがたさや共育の必要性を伝える良い機会となった。

(グ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業	(農林水産省、地域の魅力再発見食育推進事業)「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム 2019 in につしん」として映画上映、講演会、パネルディスカッションを実施	(A) R1. 9. 8 13:00～17:00 (C) 市民会館 小ホール (C) 13名	(D) 一般市民 (E) 参加者数 92人 大人 86人 小中学生 5人 未就学児 1人 内会員 31人	332,859円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 332,859円

(内訳)

・雑給	100,288円	・旅費交通費	30,360円
・通信費	7,023円	・賃借料	107,930円
・保険料	3,000円	・消耗品費	1,330円
・広告宣伝費	76,102円	・支払い手数料	918円
・印刷製本費	1,500円	・仕入高NPO	4,408円

(3) 収益

総合計 149,200円

(内訳)

- ・前売り 124,200円 (1,800円×69名)
- ・当日券 18,000円 (2,000円×9人)
- ・小中学生以下 7,000円 (1,000円×7人)

反省点・改善ポイント

開催10日ほど前まで集客が少ない状態だったが各スタッフの呼びかけによりスタッフを併せて92名の参加者となった。シンポジウムなどは体験型のイベントに比べ集客がしにくい。毎回参加してくれるコアな方を増やして行く必要あり。会員募集の強化策が必要。



(ゲ) 事業内容

日進市の委託事業として『にしん米作り体験コース2019』を5月19日の田植えより開催。7月28日(日)には、第2回目の『田んぼに暮らす生き物観察。除草などの稲のお世話』を開催。除草のレクチャー稲の成長状況を説明。その後、生き物観察をして捕まえた生き物の発表会を行った。

10月20日(日)には、第3回目の『手鎌で稲刈り。はざかけ』を開催。講師は当会農事業部委員の山田が担当し昔ながらの手鎌での稲の刈り方やはざかけのレクチャーを実施した。

11月10日(日)には、第4回目の『昔ながらの足踏み脱穀』を開催。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわらとりなどを行った。また、コンバインの説明。足踏み脱穀から機械に進化した内容を説明。また、特別企画として竹筒炊飯を火起こしから薪割りまで参加者と一緒に行った。

12月1日(日)には、最終回として『正月前のしめ縄-リース作り』を開催。講師は当会環境寺子屋事業部の服部、伊藤が担当し、もち米を青田刈りした藁を使ったしめ縄作りを実施藁叩きや藁絞り、飾りつけ等を体験された。しめ縄づくり後は、1年の振り返りを行った。参加する事で自然に触れ、農業を体験する事で子ども達に良い影響を与えて頂いた等嬉しい感想があった。

第1回から4回目までは昼食としておむすびと旬の野菜のお味噌汁の提供を行った。提供時に食育の必要性や野菜や米も薬膳的効能など伝えている。一年を通じお客様に満足頂ける内容となった。

(ゴ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第1回 峰のむらさきの田植え、 苗取り	(A) R1. 5. 19 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人 村野副理事長 スタッフ6人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 39人 大人 22人 小中学生 12人 未就学児 5人	39,231円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第2回 生き物観察。除草など	(A) R1. 7. 28 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人 村野副理事長 スタッフ6人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 39人 大人 20人 小中学生 12人 未就学児 7人	2,054円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第3回 峰のむらさきの稲刈り とはざがけ。	(A) R1. 10. 20 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 23人 大人 11人 小中学生 7人 未就学児 5人	19,750円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第4回 峰のむらさきの足踏み 脱穀。竹筒炊飯。	(A) R1. 11. 10 (B) 日進市当会圃場 (C) 9人 村野副理事長 スタッフ：8人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 18人 大人 9人 小中学生 6人 未就学児 3人	11,186円
⑧ 前各号の事業を遂行するために必要な事業。	第5回 しめ縄-リース作り	(A) R1. 12. 1 (C) 日進市 北部福祉会館 (C) 5人 村野副理事長 スタッフ 4人	(D) 一般市民 (E) 参加者数 15人 大人 7人 小中学生 4人 未就学児 4人	7,065円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 103,486円
(内訳)

・保険料	6,180円	・消耗品費	67,406円
・広告宣伝費	4,880円	・印刷製本費	820円
・賃貸料	24,200円		

(3) 収益

総合計 418,200円

(内訳)

○第1回	83,640円
○第2回	83,640円
○第3回	83,640円
○第4回	83,640円
○第5回	83,640円

反省点・改善ポイント

広報につきんや日進市のサイトやメールにて集客を実施。ほぼ満員となった。
また、につきん<食育食農>共育ファームにつきん米づくり体験コース独自のHPを作成することにより、お客様に現状の田んぼの状態や振り返り報告も可能となった。



(ザ) 事業内容

アジア保健研修所(AHI)の紹介にてNたま17期生に、Earth as Motherの活動紹介と稲刈り体験を実施。

(ジ) 前各号の事業を遂行する為に必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業	NGOのスタッフになりたい人(Nたま)のコミュニティカレッジでの活動紹介と稲刈り体験	(A) R1. 11. 2 15:00~17:00 (B) AHI 施設 (C) 理事長 山本百百代 スタッフ：3人	(D) カレッジ参加者 (E) 参加者数 20人 大人 20人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア6人)

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 10,000円

(内訳)

・謝礼金 10,000円

反省点・改善ポイント

稲刈りやはさがけ体験が初めての方が多く楽しんでされていたのが印象的だった。圃場は少しぬかるんでいたが、怪我無く無事終わる事が出来ました。



その他 費用

・雑給 (前年度)	8,710円	・事務用品費	181円
・広告宣伝費	2,916円	・支払手数料	270円

⑨管理事業

(ズ) 事業内容

(2) 事務局管理費

1 総費用

総合計 2,920,768円

(内訳)

管理費の内訳

法定福利費 (管理)	592,229円
旅費交通費 (管理)	5,140円
通信運搬費 (管理)	279,912円
賃借料 (管理)	15,200円
地代家賃 (管理)	840,000円
水道光熱費 (管理)	312,197円
消耗品費 (管理)	112,730円
租税公課 (管理)	17,832円
運賃 (管理)	3,906円
事務用品費 (管理)	30,495円
広告宣伝費 (管理)	122,179円
支払手数料 (管理)	504,900円
諸会費 (管理)	68,950円
印刷製本費 (管理)	15,098円

2 収 益

総合計 3,500,106円

(内訳)

受取入会金	8,000円
正会員受取会費	445,000円
団体・企業受取会員	80,000円
寄付金収入	2,097,347円
受取助成金	287,000円
受取補助金	138,030円
賛助会員	6,000円
管理	382,600円
雑収益	55,580円
受取利息	549円

※来年度からの事業に関して昨年多大な寄付金を頂いた。

(3) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

通常総会

・開催日時及び場所

平成31年3月10日 12:30～14:20

ウィルあいち セミナールーム5

・議題

- ① 第一号議案 平成30年度 事業報告、収支決算報告について
- ② 第二号議案 平成30年度 監査報告について
- ③ 第三号議案 平成30年度 寄附金活用報告について
- ④ 第四号議案 平成31年度 事業計画（案）、活動予算（案）について
- ⑤ 第五号議案 平成31年度 理事長互選（案）について
- ⑥ 第六号議案 平成31年度 理事（案）について
- ⑦ 第七号議案 平成31年度 運営組織・人事（案）について
- ⑧ 第八号議案 定款内容変更について
- ⑨ 第九号議案 農事事業の専任者新規雇用について
- ⑩ 第十号議案 その他

(2) 理事会

イ 理事会

第1回理事会

・開催日時及び場所

平成31年2月5日 19:35～ 23:30

鶴舞事務所

・議題

- ① 第11回通常総会議案について
- ② 第11回通常総会プログラムについて
- ③ その他について

第2回理事会

・開催日時及び場所

平成31年2月18日 19:15～ 23:30

鶴舞事務所

・議題

- ① 平成30年度予算最終審議
- ② 平成30年度組織運営について
- ③ その他について

第3回理事会

・開催日時及び場所

令和元年12月15日 19:00～ 23:00

鶴舞事務所

・議題

- ② 令和2年度年度年事業方針
- ③ 令和2年度年間スケジュール
- ④ 令和2年度各事業部門予算
- ⑤ 令和2年度組織、理事について
- ⑥ 新規雇用、収益拡充について
- ⑦ 平成31年度寄附金使用について